

菊一文珠四郎包永 の活動

数代前の松岡猪之松の口癖の、「世間さまに迷惑をかけず、世間さまからもうけさせてもらったものは世間さまに返す」を理念に、良い商品を提供するだけでなく、今までの恩をお返しできないか……。小さな会社の小さな力でも何かできることがないのか……。いろいろな試行錯誤のなかで、進めてきた活動をご紹介します。

年	月	菊一包永の動き、赤字（世界情勢など）青字クリックするとウェブページを表示します
平成9年（1997）		ニューヨーク菊一設立
13年（2001）	9月11日	アメリカ同時多発テロ / 「9.11 家族会」結成 被災された方の支援を始める（主に PTSD(心的外傷後ストレス障害)のケア）
19年（2007）	秋	広島で原爆により被ばくした佐々木禎子さんの折鶴が世界貿易センター向のトリビュートセンターに寄贈・展示される
23年（2011）	3月11日	東日本大震災の発生
	12月23日	福島郡山市 開成山公園 復興の折り鶴 寄贈・設置に参加
		絵本 「貞子の折鶴」制作に協力 関連記事 ・福島県郡山市公式サイト 絵本 サダコのおり鶴 ・ 東京新聞 日米つなぐ命の絵本 「復興の折り鶴」機に交流
24年（2012）	夏	9.11 家族会の東北への慰問が始まる（第1回 復興の折り鶴プロジェクト）
25年（2013）	夏	第2回 復興の折り鶴プロジェクト 主な活動 9.11 家族会が郡山市を訪問
26年（2014）	8/2～8/8	第3回 復興の折り鶴プロジェクト 関連記事 ・ 首相官邸 福島原発事故後の国際協力支援
27年（2015）	3月	New York の Asia Society にて日米の被災者の絆について発表
	7/26～8/1	第4回 復興の折り鶴プロジェクト
28年（2016）	7/26～7/31	第5回 復興の折り鶴プロジェクト 関連記事 ・河北新報 9.11 と 3.11 悲しみ抱き共に前へ
29年（2017）	6月	6年にもわたる「復興の折り鶴プロジェクト」が、9/11 家族会や福島県郡山市西ロータリーの方々と共に、日本国 NY 総領事表彰を受ける。 在 NY 日本国総領事館表彰
	7/2 ～7/7	第6回 復興の折り鶴プロジェクト 関連記事 ・福島県立聴覚支援学校 9.11 家族会との交流 ・ 毎日新聞 宮城県 「一緒に語り続ける」 9・11 家族会、遺族と交流 石巻 /宮城
30年（2018）	9/24	東日本大震災 福島県産あさか舞応援フェア（←詳細は菊一ブログをご覧ください） 第7回 復興の折り鶴プロジェクト

令和1年(2019)	7/30~8/4	第8回 復興の折り鶴プロジェクト
------------	----------	------------------

※ がんばろう東北 復興の折り鶴プロジェクトは多くの方々のご協力いただいています。

団体名		菊一包永 活動掲載ページ
主催	アメリカ日本人医師会 (JMSA)	PERSON TO PERSON DIALOGUE: CONNECTING 9.11 TO 3.11 - TOGETHER WE CAN MOVE FORWARD (PART 2/3)
	国際ロータリー7490 地区イングルウッドロータリー	
協賛	アメリカン航空 (Miles for kids in Needプログラム)	
	米日財団 (United State-Japan Foundation)	Communication and Public Opinion 写真掲載
	国際ロータリー グローバルgrant	
協力団体	外務省在ニューヨーク日本国総領事館	
	ジャパンソサエティ (NY)	
	ジャムズネット	
	郡山西ロータリークラブ	
	仙台ロータリークラブ	
	奈良ロータリークラブ	
	マウントサイナイ医科大学	
	9.11 家族会 (September 11 th Families' Association)	